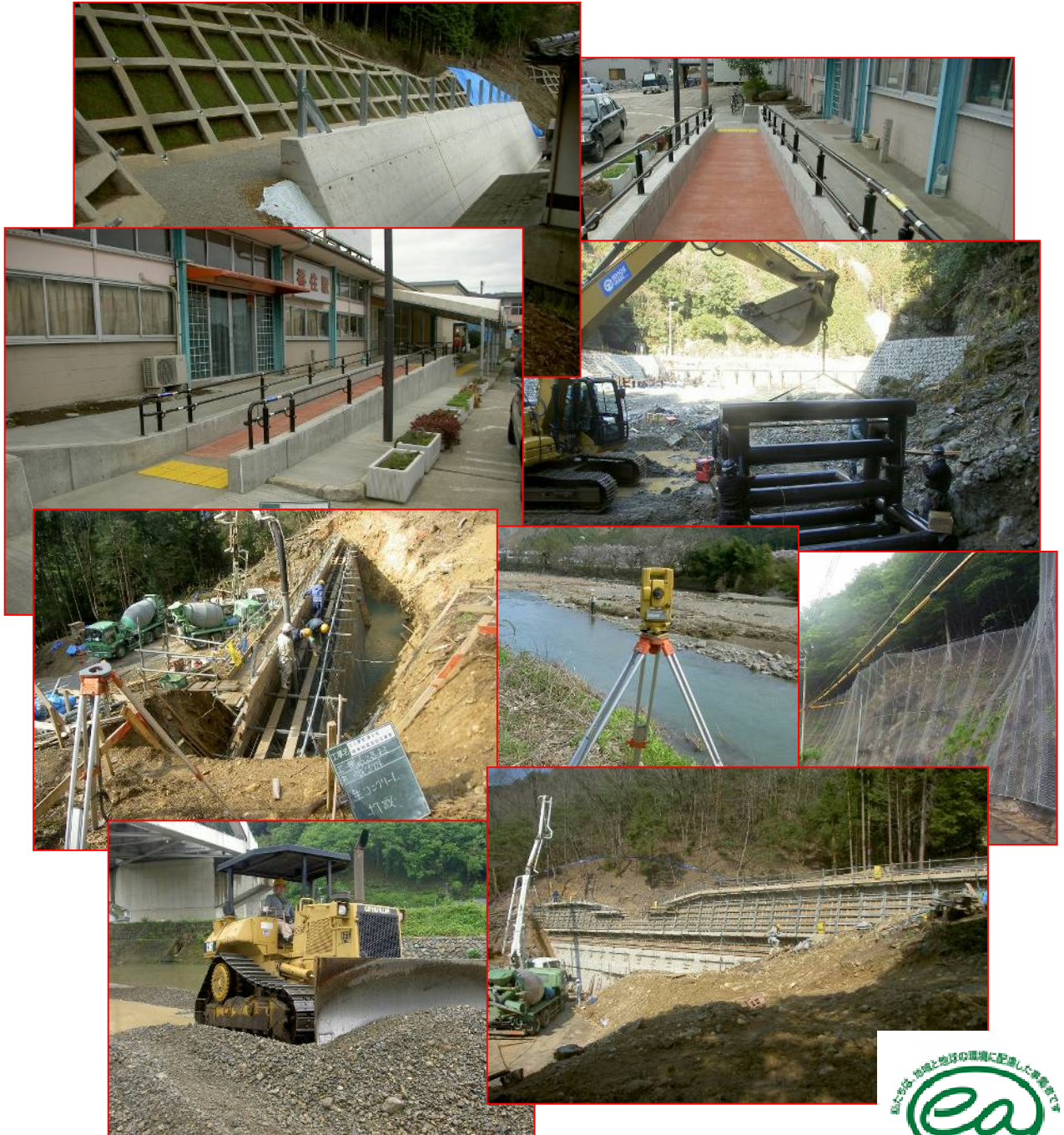


# 能見建設株式会社

## 2024年度 環境経営レポート

(対象期間:2024年6月1日～2025年5月31日)



発行日: 2025年12月25日

改訂日:



## ごあいさつ

能見建設株式会社は、兵庫県中北部を活動範囲とし、建設業と産業廃棄物収集運搬業を営む企業です。昭和56年の創業以来、多くのお客様から絶大なる信頼とご支援を賜りながら堅実な経営を営み、お陰様で43年を迎えました。

この度弊社は、エコアクション21に基づく環境経営システムを構築し運用開始することによって、地球環境に優しい企業として、新たな一步を踏み出しました。

これを全社員に周知徹底し、環境意識を高め、継続的に環境負荷の低減に取り組んで行くことを宣言します。

## 環境経営方針

弊社は、土木・建築・解体工事請負・産業廃棄物収集運搬業を主とする事業活動によって、快適で活力ある社会の実現を目指しておりますが、それと共に美しい自然、豊かな資源をも共に次世代に手渡す責務を負っております。

また、2015年、国連で採択された「持続可能な開発目標」(SDGs)の17の目標のうち、建設業である弊社は、発注者や取引先とともに、特に

- ・気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策をとる
- ・強靱なインフラを整備し、包括的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る
- ・陸上生態系の保護、回復及び持続可能な利用の促進、森林の持続可能な管理、砂漠化への対処、土地劣化の阻止及び逆転、ならびに生物多様性損失の阻止を図る

に全社一丸となって注力し、地球温暖化の防止、循環型社会の構築など、具体的そして能動的に環境への取組を進めてまいります。

1. 環境経営システムの継続的改善を推進する。
2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守する。
3. 二酸化炭素排出量の削減を推進する(電気、ガソリン、軽油、灯油)。
4. 廃棄物の3R(減量、再利用及び再生利用)を推進する。
5. 水使用量の削減を推進する。
6. 環境配慮型製品の調査研究及びそれらを使った構築物の積極的な提案を推進する。
7. 環境経営方針は全従業員に周知する。

制定日： 2011年6月20日

改定日： 2020年6月30日

能見建設株式会社  
代表取締役 能見信之

## □組織の概要

### (1) 名称及び代表者名

能見建設株式会社  
代表取締役 能見信之

### (2) 所在地

本社(登記上) 〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷317番地30  
事務所 〒679-3301 兵庫県朝来市生野町口銀谷261番地34 ハイソ和泉107号  
倉庫・資機材置場 〒679-3302 兵庫県朝来市生野町円山字ソリ327番地1

### (3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	代表取締役 能見信之	TEL:079-679-3254 e-mail: n-nohmi@nohmi-const.jp
担当者	取締役 能見悦子	TEL:079-679-3254 e-mail: nqj30355@nifty.com

### (4) 事業内容

法人設立年月日 昭和64年1月4日  
資本金 9,500,000円

#### 建設請負業

兵庫県知事許可 般6 第600714号 令和7年2月10日許可  
有効期限 令和12年2月9日

(土木一式、建築一式、とび・土工、大工、左官、石、屋根、管、タイル・れんが・ブロック、  
鋼構造物、鉄筋、舗装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、  
熱絶縁、建具、水道施設 各工事業)

#### 産業廃棄物収集運搬業(事業区分:収集運搬業(積替え・保管を含まない))

兵庫県知事許可 第2807085425号 令和4年6月3日許可  
有効期限 令和9年6月2日

許可品目: 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、  
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類

#### 一般廃棄物収集運搬業

南但広域行政事務組合許可 第12号 令和6年4月1日  
許可区域: 養父市内・朝来市内  
有効期限 令和8年3月31日

(5) 事業の規模

	本社	事務所	資材倉庫	資機材置場	合計
従業員	1名	2名	無人	無人	3名
延べ床面積	9㎡	77㎡	63㎡	471㎡	620㎡

建設業 年間完成工事高 39百万円（令和6年度 税抜き）

産業廃棄物収集運搬業（各案件の建設工事と一括請負、令和5年度）

収集運搬量 416.055 t  
運搬車輛 4 t ダンプトラック 1台  
3 t ダンプトラック 1台  
軽トラック 1台  
積替・保管施設 なし  
収集運搬料金 個別見積もりによる

一般廃棄物収集運搬業（各案件の建設工事と一括請負、令和5年度）

収集運搬量 25.38 t  
運搬車輛 4 t ダンプトラック 1台  
3 t ダンプトラック 1台  
軽トラック 1台  
積替・保管施設 なし  
収集運搬料金 個別見積もりによる

(6) 事業年度 6月1日～翌年5月31日

□認証・登録の対象範囲

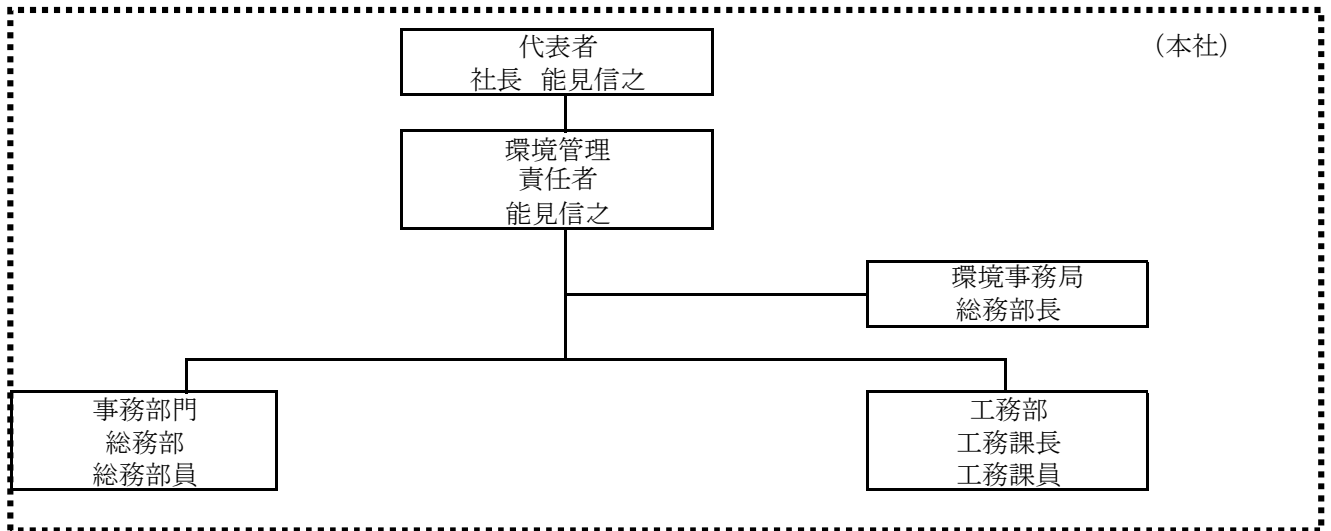
登録組織名: 能見建設株式会社

対象事業所: 本社  
事務所  
資材置場

対象外: なし

活動: 建設業  
(土木一式、建築一式、とび・土工、大工、左官、石、屋根、管、タイル・れんが・ブロック、鋼構造物、鉄筋、舗装、しゅんせつ、板金、ガラス、塗装、防水、内装仕上、熱絶縁、建具、水道施設、解体の各工事業)  
産業廃棄物収集運搬業  
一般廃棄物収集運搬業

□組織図



	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>経営における課題とチャンスの明確化</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直し・指示</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理、</li> <li>環境関連法規制等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>緊急事態対応手順のテスト、訓練の指導及び総括</li> <li>環境経営の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境経営の実績集計</li> <li>環境関連法規制等取りまとめ表の作成</li> <li>環境関連法規制等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>特定された項目の手順書作成</li> <li>特定された緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>環境経営レポートの作成、公開(事務所への備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境経営システムの実施</li> <li>自部門における環境経営方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>特定された項目の運用管理</li> <li>緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

□主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	17,327	12,783	16,070	19,471
電力	kWh	2,734	2,274	2,784	2,670
ガソリン	L	3,648	2,602	2,901	2,821
軽油	L	3,154	2,247	3,242	4,506
廃棄物排出量	トン	118	106	102	421
一般廃棄物	トン	1.1	1.0	1.0	0.8
産業廃棄物	トン	117	105	101	420
水使用量	m <sup>3</sup>	52.0	48.0	72.0	74.0
化学物質	kg	0	0	0	0
受託した産業廃棄物の処理量(収集運搬)	t	0	0	0	0
受託した一般廃棄物の処理量(収集運搬)	t	24.0	13.0	24.1	25.4

※受託した一般廃棄物の処理量(収集運搬)については、2019年度から集計を始めた。

□環境経営目標及びその実績

(1) 中長期目標

項目		年度	2020年度 基準年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>		23,265	22,567	22,334	22,102	21,869	21,636
電力 使用量削減 (※注1)	kWh kg-CO <sub>2</sub> 対基準		2,777 1,166	2,694 1,131	2,666 1,120	2,638 1,108	2,610 1,096	2,583 1,085
				△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
ガソリン 使用量削減	L kg-CO <sub>2</sub> 対基準		3,391 7,867	3,289 7,631	3,255 7,552	3,221 7,474	3,188 7,395	3,154 7,316
				△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
軽油 使用量削減	L kg-CO <sub>2</sub> 対基準		5,516 14,231	5,351 13,804	5,295 13,662	5,240 13,520	5,185 13,377	5,130 13,235
				△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
II. 水使用量 削減	m <sup>3</sup> 対基準		61.0	59.17	58.56	57.95	57.34	56.73
				△3%	△4%	△5%	△6%	△7%
III. 廃棄物排出量								
一般廃棄物 (総排出量) (a)	kg		(参考12,880)					
一般廃棄物 (注2) (1)最終処分量削減(b)	kg 対基準		11,820	11,820	11,820	11,820	11,820	11,820
				基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ
一般廃棄物 (注2) (2)リサイクル率向上	% 対基準		8.22	8.47	8.55	8.63	8.71	8.79
				↑3%	↑4%	↑5%	↑6%	↑7%
産業廃棄物 (総排出量) (a)	トン		(参考508.34)					
産業廃棄物 (1)最終処分量削減(b)	トン 対基準		7.98	7.98	7.98	7.98	7.98	7.98
				基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ
産業廃棄物 (2)リサイクル率向上	% 対基準		98.60	98.60	98.60	98.60	98.60	98.60
				基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ
IV建設工事における 環境配慮	件 対基準		11件	11件	11件	11件	11件	11件
				基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ	基準と同じ

注1) 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2022年度関西電力公表の0.420kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用し再計算した。

注2) 一般廃棄物は、2023年度から、事務所発生廃棄物ではなく現場発生廃棄物の最終処分量とリサイクル率について管理する。

注3) 化学物質を使用していないため、目標に設定していない。

(2) 2024年度の実績

項目		2024年度における実績 (2024年6月～2025年5月)				
		目標(2020年 度実績の△ 2%)	実績	達成度(%)	評価	
		年度				
I. 二酸化炭素 排出量合計	kg-CO <sub>2</sub>	22,800	18,893	120.7	○	
電力使用量	kWh	2,721	2,670	101.9	○	※注記4
	kg-CO <sub>2</sub>	1,143	1,121			
ガソリン 使用量削減	L	3,323	2,820	117.8	○	
	kg-CO <sub>2</sub>	7,709	6,729			
軽油 使用量削減	L	5,406	4,280	126.3	○	
	kg-CO <sub>2</sub>	13,947	11,042			
II. 廃棄物排出量						※注記1
一般廃棄物	kg 発生量a		25,380			※注記1
	最終処分量b	11,820	23,760	49.7	×	※注記1
	リサイクル率	8.22	6.38	77.6	×	※注記1、注記2
産業廃棄物	トン 発生量a		420.05			※注記1
	最終処分量b	7.98	7.02	113.7	○	※注記1
	リサイクル率	98.60	98.30	99.7	△	※注記1、注記2
III. 水使用量削減	m <sup>3</sup>	71.3	74.0	96.4	△	
IV. 建設工事における 環境配慮	件	11	11	100.0	○	※注記3

注)評価欄にて、○:達成(100%以上)、△:やや未達成(90%～100%未満)、×:未達成(90%未満)

※注記1 廃棄物の目標は最終処分量の削減と、リサイクル率の維持を目標とする。  
総排出量は目標としない。当面、廃棄物への取り組みについては、この考えでいきたい。

※注記2 リサイクル率(%)=(総排出量a-最終処分量b)/総排出量a\*100

※注記3 再生材の使用、発生材、発生残土の積極的なリサイクルの提案などを積極的に行った。

※注記4 電力の二酸化炭素排出量への換算係数は、2022年度関西電力公表の0.420kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用し再計算した。

□環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた ○ままできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価(結果と今後の方向)
<b>(目標達成)</b>		
I 二酸化炭素排出量合計	◎	二酸化炭素総排出量は、目標値の17.1%減。売り上げ減を鑑みると、当然の結果か。詳細を見ると軽油(重機、ダンプトラック)使用量の少ない工事内容が多かったことが主因である。ともあれ、エコ運転をはじめ継続した活動の結果も出ている。今後も下記の取組を継続する。
<b>電力使用量の削減 (目標達成)</b>		
・空調温度の適正化(冷房28℃暖房20℃)	○	冬季から春先のエアコン稼働時間が長かったことが影響している。なお、こまめな消灯々々、節電意識は根付いている。
・不要照明の消灯	◎	気付いた者が消灯し、声を掛け合った。
・パソコン・複合機他OA機器の管理(不要時の電源オフ)	◎	休日前、不在時など長時間不使用時だけではなく終業時オフにも対応できた。今後も節減を続けたい。 今後も一層積極的な取り組みを実施する。
<b>ガソリン使用量の削減 (目標達成)</b>		
・使用量の削減	◎	エコ運転が根付いている。
・不要なアイドリングストップ	◎	よくできたが、もっと意識をしエコドライブを実行する。
・適正な車輛の整備	○	全社員が注意し、報告・早期整備しているのでままできた。
・急加速・急停車の防止	◎	普段から安全運転に注意しているのでままできた。
・効率的な移動	○	無駄を省く計画性が見受けられる。ままできたが、気を緩めず次年度も計画的な移動を心がけたい。 今後も一層積極的な取り組みを実施する。
<b>軽油使用量の削減 (目標達成)</b>		
・使用量の削減	◎	売上高激減の中で対目標値△59.3%と大幅減。 (1)エコ運転が根付いている (2)遠距離の現場の場合は夜間は現地に置かせてもらい相乗りで帰る配慮工夫ができている のも大きな要因だが、一番大きな要因は、軽油(重機、ダンプトラック)使用量の少ない工事内容が多かったことである。努力、工夫の効果が分かりにくい部分ではある。
・不要なアイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	◎	普段より安全運転に注意しているのでままできた。
・適正な車輛・重機の整備	◎	全社員が注意し、報告・早期整備しているのでよくできた。
・重機の空ぶかしの禁止	◎	普段より経済運転に心がけているのでよくできた。
・重機の最高出力の80%での作業	◎	普段より経済運転に心がけているのでよくできた。
・効率的な移動	◎	かなり計画的に運航している。努力が見てとれる。 今後も一層積極的な取り組みを実施する。

<b>II 廃棄物排出量の削減</b>		解体工事など工事内容に大きく左右され、年度ごとに比べても意味がないので総排出量の数値目標は設定していない。排出量より排出物の分別の精度をいかに高めるかである。従来から廃棄物の分別は徹底しており、再生、再利用に向けた取り組みは大きな成果を上げている。今後もリサイクル率の向上に努めていきたい。
<b>一般廃棄物の削減</b>		<b>(目標未達成)</b>
・最終処分量の削減	×	最終処分量増加は単純に受託量増加とイコールである。また、リサイクル率は、その内容物により受託した瞬間に決まっている。
・リサイクル率の向上	×	
<b>産業廃棄物の削減</b>		<b>(目標一部達成)</b>
・最終処分発生量の削減	◎	工事内容に大きく左右されるが、分別の徹底の結果ともいえる。
・リサイクル率の向上	○	普段から分別を徹底しているのでよく出来た。排出量を的確に把握しながら、削減に努める。
<b>III 水道水使用量の削減</b>		<b>(目標未達成)</b>
・節水の周知徹底	△	解体工事の際のシャワー使用が大きく影響。引き続き節水を心がける。
<b>IV 建設工事における環境配慮</b>		<b>(目標達成)</b>
・施主へのPR	◎	施工計画段階で書面で情報を提供していく方法を継続。
・メーカーからの情報収集	○	受注内容により情報収集範囲、内容が特定されるのが難点である。
		今後も継続していく。

□環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	要求事項(施設・物質・事業活動等)	評価
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(金属くず、廃プラ、廃ガラス、廃油等)の適切な分別と処分など 契約・産廃管理表の管理、産業廃棄物管理票交付等	遵守
騒音規制法	特定のバックホウ、ローラー、コンプレッサー、発電機使用などを使用した特定建設作業実施時の行政庁への事前届け出など	遵守
振動規制法	特定の大型ブレーカー、削岩機、杭打ち機、杭抜き機などの特定建設作業実施時の行政庁への事前届け出など	遵守
大気汚染防止法	石綿の周辺への曝露防止 事前調査と計画、結果の報告、記録の保存	遵守
労働安全衛生法	石綿の周辺への曝露防止 事前調査と計画、結果の報告、記録の保存	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用の簡易点検・記録・保存、漏えい防止	遵守
	解体工事でのエアコンなどの有無確認・発注者への説明、フロンの適切な回収	遵守
建設リサイクル法	分別解体の実施、特定建設資材廃棄物の適切なリサイクル	遵守
家電リサイクル法	使用済み家電4品目の適切なリサイクル	遵守
自動車リサイクル法	使用済み自動車の適切なリサイクル	該当なし
消防法	消火器の定期点検	遵守

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。また、関係当局より違反などの指摘もありませんでした。

□代表者による全体評価と見直し・指示

エネルギー消費、廃棄物処理ともによく努力している。今後とも、持続可能なエコ活動を、気を引き締めて進めていきたい。

3Rなどの無駄をなくす取り組みは、社内活動として定着してきているので、今後は更なる啓蒙活動を行い、全社員への徹底を図って行く必要がある。

全体としては、非常に厳しい経済状況の中、投資をなるべく抑えて、目標を設定して実行し、目標を達成して来たことは、非常に評価出来ると考える。なお、【取組状況の評価結果】でも触れたが、受託一般廃棄物の最終処分量の削減、リサイクル率の向上については解体前の生活残渣の整理処分が主であり、古紙以外はリサイクルできない現状では数字を追うことに意味はない。次年度以降の見直しとして、受託一般廃棄物の計数管理を取りやめ、「適正管理」の成否によって判断することとする。

項目	変更要否	変更内容
環境経営方針	否	—
目標・環境経営計画	要	受託一般廃棄物は「適正管理」を管理目標とし、その成否で効果を測る
実施体制	否	—
その他	否	—

見直し年月日 令和7年6月25日 代表取締役 能見信之

□環境活動の紹介



朝礼では、安全行動とともに騒音の抑制、急加速急発進の禁止も促します。もちろん後ろのクレーン車はアイドリングストップ中！



これも朝の風景。もちろん後ろのコンクリートポンプ車はアイドリングストップ中！



月一回ペースで行う安全衛生教育。災害発生時の避難方法や緊急連絡体制もここで伝えます。(この写真は冬季のもの。エアコンの温度を抑えているので全員ウォームビズで…。)



土石流対策避難訓練。定期的こんな訓練も行います。



現場事務所には吸殻入れと消火器。朝、作業現場に出て行って夕方ここに帰ってきます。ポイ捨て厳禁！



建設機械は低騒音型、排出ガス対策型。このステッカーが目印です。



現場の土とモルタル殻が混じってしまわないように丁寧に集積します。重さは、この袋1つで1tにもなります。



木くずは飛散して周辺を汚さないようにきちんとシートがけ。搬入先は、もちろん再生施設。木くずはここでチップになって次の役目をもらいます。



安全衛生パトロール風景。このとき、残材がきちんと片付いているか、産廃の分別状況、車輛や重機の整備状況などもチェックします。道路を汚していないか、埃がたっていないかなどもポイントです。



こちらも安全衛生パトロール。最初の測量から掘削、型枠組立、足場組立、溶接、生コン打設まで95%は自社直営です。安全は、まず整理整頓から。



河川工事に入ったときに、ついでにゴミ掃除。



土木工事用製品にも、このような「地球にやさしい」製品がどんどん開発・提供されているんですね。我々も、もっと情報アンテナを張らないと・・・。



型枠剥離剤も環境配慮型製品を使用しています。「エコマーク」認定の有無は、資材選定の大きな基準になりますね。



節電シール その1



節電シール その2



重要書類以外は再利用の上で再生に。  
シール「シュレッダーにかけたたらただのゴミ！」



エアコン温度設定シール  
「夏期28℃ 冬季20℃ 厳守！」



複合機シール  
「用紙の大きさは合っているか?」  
「再利用紙ではだめか?」



分別は まずは事務所から  
「新聞 雑誌 公告 それぞれ別梱包」



もちろん工事材料の梱包も今日まで大切に保管。



地域の方とともに。リサイクルの意識は高い



地域の中学校の資源回収をお手伝い



但馬5万人クリーン作戦へのボランティア参加。  
南但クリーンセンターにて。



しかしそれにしても、投棄ゴミのバリエーションと  
量の半端ないこと、、、。



これは、不慮のオイル漏れなどで環境に悪影響を与えないための油水吸着剤  
4000～5000円/袋 は少し高いな



夜のプラットフォームで火災訓練。



おかげさまで、このような立派な賞を頂きました。  
これは、弊社の仕事へのまじめな取り組みを評価して頂いたものと思います。  
社員一同、心を新たに、これまで以上に精励いたします。



HYOGO SDGs



ひょうご産業 SDGs 認証事業  
スタンダードステージ  
認証書

企業名 能見建設株式会社

認証期間 2024年3月25日 ~ 2027年3月31日

貴社を「ひょうご産業 SDGs 認証企業」として認証します。

2024年3月25日

兵庫県知事 齋藤元彦

No. 00237

(様式第1)

20250319 近畿第39号  
令和7年3月21日

能見建設株式会社  
代表取締役 能見 信之 殿

近畿経済産業局長 信谷 和重

事業継続力強化計画に係る認定について

令和7年3月4日付けをもって申請のあった事業継続力強化計画については、  
中小企業等経営強化法第56条第1項の規定に基づき認定する。